

# 第3回チーム“SUNAGAWA”団結セミナー 振り返り

1日目 トークセッション

とき 平成30年7月5日(木) 18:00~20:00  
 ところ 砂川市役所 大会議室



今回で5度目の砂川となる講師 (一社)地球 MD 代表理事 山本 聖(さとし)氏 ㊦  
 初めての砂川となる講師 (株)からだにいいこと 取締役 森本滋久(しげひさ)氏 ㊦  
 第3回セミナーの出席者は96名、今回もたくさんの皆さんに出席いただきました。

## 1. 砂川市地域ブランド構築事業概要説明 (事務局)

### ブランディングプロジェクト取組みの目的



人口減少社会をみんなで乗り越えたい

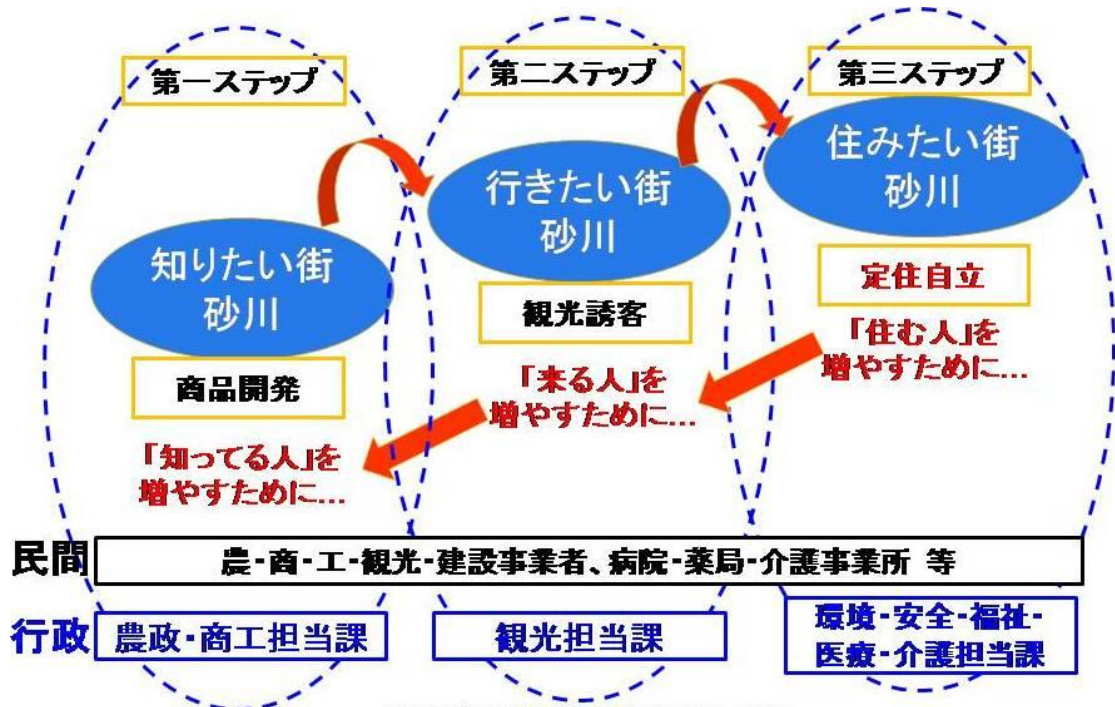
砂川市民がどんなまちづくりを望んでいるか(第6期総合計画市民アンケート)

1位→やさしい福祉、2位→安心の医療、3位→産業が盛んなまち

『福祉』×『医療』×『産業』=?

→これが『砂川ブランド』になるのでは? これをみんなで考えたい!

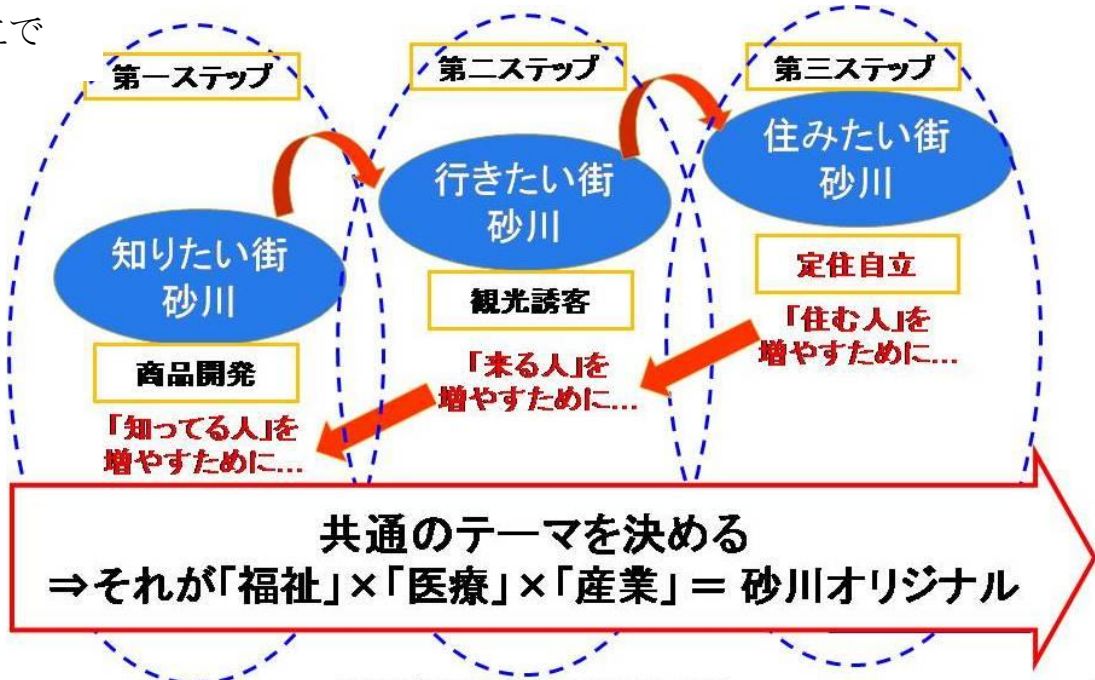
## 2. これまでの振り返り・地域ブランドのつくり方（山本講師）



- ① 『住みたい街』になる → 何回も『行きたい街』になる(ファンになってもらう)必要がある
- ② 『行きたい街』になる → 『知りたい街』になる必要がある
- ③ 『知りたい街』になる → 地域の物語を地域外でPRする必要があります

**民間の事業者は、全てのステップの関係者になれるが、行政は縦割り**

そこで



地域外の人に何回も来てもらうためには、地域の『共通のテーマ』が必要

- 『共通のテーマ』は異業種が一つのチームになって、みんなで探さなければいけない
- 全ての人(事業者)に関係する、関係ない人(事業者)は全くいない
- 『福祉』×『医療』×『産業』を日々実践しているのが、本日の講師の森本さん

**異業種の塊(かたまり)で地域を前面に出してブランドを作っていくことが大切**

### 3. 『福祉』×『医療』×『産業』のトレンド・先進事例（森本講師）

- 『セルフメディケーション』とは？ … 『自分の健康は自分で守る』つまり『からだにいいこと』  
 『福祉』・『医療』… 「病気になった」「専門的で難しい」と考えがち  
 → 『福祉』・『医療』を『からだにいいこと』に置き換える  
 → 『からだにいいこと』は農商工の事業に大きく関わっている … これが一番言いたいこと！



※『株からだにいいこと』のロゴマーク = めざす姿 = 生活者を「場の提供者」  
「医療従事者・啓発団体」「企業」「行政」の4者で支えていくという意味

神奈川県黒岩知事が提唱した『未病(みびょう)産業研究会』  
 会員数 設立時 64 社 (H26.8.22)→現在 600 社 (H30.7.1)



人間の体の状態は「ここまでが健康、ここからが病気」と明確に区別できません。  
 そしてこの健康と病気の間を連続的に変化する状態を「未病」と言います。  
 高齢になっても健康的で自立した生活ができる「健康寿命」を延ばすことがこれからの課題。そのためには病気になってから病院に行くのではなく、その前に「未病」を改善することで病気自体を防ぐことが大切です。(神奈川県 HP より)

『未病』への対策 → 『産業(農商工)』が連携して様々な商品・サービスを開発

異業種が連携して『未病』への取組みで生まれたもの

### ①横浜市立大学付属病院「こころまちプロジェクト」

病院内で過ごす時間を心待ちにできるような時間「心待ち時間」にかえる取組み



(1) こころまちえあ  
椅子の背にアート写真を展示。  
座っただけで癒され楽しめる  
フォトギャラリーに。



(2) こころまちツリー  
患者さん参加型のアート。  
ステッカーやメッセージで  
つくるクリスマスツリーです。



(3) こころまちラウンジ  
1階休憩室を、森をイメージした  
内装でよりリラックスできる  
空間に改装します。

### ②ウエスト85cm（メタリックシンドローム男性診断基準のひとつ）

を超えると色が変わる「アラートパンツ」



『産業(農商工)』が『福祉』『医療』に寄り添った新商品を開発し、新サービスを提供している事例

## 「セルフメディケーション」推進のキモ



のヘルスリテラシー向上を、ただ期待するのではなく  
(読解記述力)

産業



行政



場の提供者



が、医療・福祉  
つまり、

からだにいいことの普及・啓発に、  
どう寄り添うか？

「健康に関する意識（ヘルスリテラシー）が高いか低いか」ではなく、  
『産業(農商工)』が『福祉』・『医療』に寄り添い、自分達に何ができるのかを  
『産業(農商工)』 みんなで考えることがキーワード

# 「セルフメディケーション」するマチへ

ヒトは歳をとる。



アンチエイジングする。



マチも歳をとる。



アンチエイジングしたい。



セルフメディケーションをルーティン化する。



医療費抑制 / 健康寿命延伸 / HAPPYが長く続く

人は、いつまでも若々しい心と体を維持したい、実際の年齢よりも若く見せたい(見られたい)、出来るだけ長生きしたいなど「アンチエイジング」したいもの。

マチ(砂川)も同じ。マチ(砂川)も高齢化している。マチ(砂川)のセルフメディケーションが必要。行政だけではなく『産業(農商工)』が『福祉』・『医療』に寄り添い、共に連携すればマチ(砂川)の健康寿命が延びることに繋がる。

## 4. 『福祉』×『医療』×『産業』 大ミーティング



写真右から、堀江和美様(すながわスイートロード協議会会長)、神部寿郎様(有)ソーシャルワーク代表取締役)、朝日紀博様(砂川市立病院事務局長)、事業者としての「事業内容や強み」、「地域における役割」や「働く方々の暮らし」についてお話いただきました。善岡市長も途中から最後まで参加しました。



山崎君江様(砂川市立病院副看護部長)㊦と奥山俊枝様(おくやま農園)㊦からも発言をいただきました。

#### 4. 山本・森本講師が、最後に伝えたこと

○産業(農商工)・地域全体で市民の暮らし(医療・福祉)を支えるセルフメディケーション(からだにいいこと)に取り組みたい。

→ まずは、イベント等で啓発する“コト”起こし、森本講師はその専門家。

→ そこで商品やサービスを提供する、私は流通の専門家。(山本講師)

○砂川市立病院に多くの患者が来院、医師はじめ医療従事者が疲弊。

→ それを解決できるのはセルフメディケーション(からだにいいこと)。

→ ①「自分の健康は自分で守る」という認識を高めるためのイベントを実施。

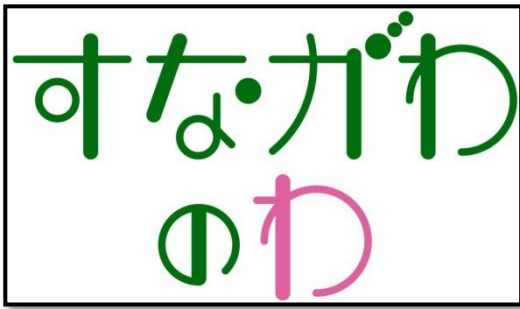
②産業(農商工)も福祉・医療に寄り添った商品やサービスを提供。

→ 病院に行く前に自分の健康が管理できる。

→ 病院に行く回数が減る。 → 砂川が全国で先駆けた事例になれる。(森本講師)

#### 5. チーム“SUNAGAWA”ブランディングプロジェクトにて使用するロゴ (事務局)

これからのチーム“SUNAGAWA”ブランディングプロジェクトの活動の中で使用するロゴについて、参加者の皆さんの投票で、『すながわのわ』に決定しました。



なお、今後、砂川ならでは！の地域ブランドができた際には、今一度このロゴが砂川ブランドを表しているロゴにふさわしいかどうかを、みんなで協議したいと考えています。

『すながわのわ』が表している通り、皆さんと手を取り合っ  
て「わ」を作り、砂川ならでは(「わ」)！の地域ブランドを作っ  
ていきましょう。

#### 2日目 事業所視察訪問

とき 平成30年7月6日(金)9:00~17:00

ところ 砂川市立病院・各事業所

山本講師がセミナー参加事業者様を視察訪問しています。第1回の昨年 12/22 には(有)ほんだ菓子司 様、砂川ハイウェイオアシス観光(株) 様、第2回の 2/23 には砂川建設協会 様、2/24 には新砂川農業協同組合・農業関係者 様と懇談をしています。今回は砂川市立病院 様、空知単板工業(株)砂川工場 様、奥山農園 様、ナカヤ菓子店 様を訪問しました。



↑ 市立病院屋上からの絶景

「ヨーロッパにしか見えない」と絶賛！



空知単板工業(株)砂川工場の強みである製造技術を学ぶ →



↑ 奥山農園の歴史・風景に興味津々



↑ ナカヤ菓子店の主力商品『アップルパイ』を堪能

## 2日目 ワークショップ

と き 平成30年7月6日(金)18:00~20:00

ところ 地域交流センター ゆう

### 1. 昨日のセミナーの振り返り (山本講師)

○昨日は、砂川のブランド作りのテーマを『「福祉」×「医療」×「産業」』とすることを宣言した

○今後の展開がイメージできない方は多いと思う

→ 内容が高度であり最先端、日本で初めての取組みだから当たり前

○砂川市 → 国民健康保険料・介護保険料が道内で低い

財政が厳しい国にとってもありがたい、国は優遇する(お金)、全国モデルになり得る

○市立病院 → 最先端、この規模の自治体病院で黒字はありえない(国も想定していない)

→ 1.7万人の街に毎日2千人(家族を含めると3倍)以上が集うとんでもない場所

→ その場所に集う人の生活にどう寄り添うか、産業がどう関わるか

→ 大事なことは、産業がセルフメディケーション=からだにいい『コト』を起こしていく

『コト』が起きるとそこに『モノやサービス』(新商品・サービス) が生まれる

『モノやサービス』(新商品・サービス) を生み出すことが先ではない

○『コト』とは → からだにいいことを体験すること、「元気になる」「綺麗になる」「眠りを良くする」

「検査する」「青空を観る・空気を吸う・土に触る」など、全てからだにいいこと

**産業(農・商・工)が団結して、地域の内外の方から評価を得ていく取組みを実践したい**



2日目のワークショップは36名の参加をいただきました。ありがとうございました。

2. ワークショップテーマ「6/1～4に阪神百貨店で行われた『すこやか美人フェア』を砂川らしいやり方で、市立病院でやってみる」ことをみんなで考える（山本講師）



- 市立病院に集う人は「患者」「患者の家族」「医師等医療従事者とその家族」
- 市立病院に集う人の1日を解剖する（ライフスタイルを考える）
- そこから市立病院に集う人のニーズが浮かび上がる
- そのニーズにどんな『コト』を提供できるのか
- 様々な業種の参加者が自分にできる『コト』を考えました



次回のチーム“SUNAGAWA”団結セミナーは、10月12日（金）です。内容は、『からだにいいこと』という言葉をキーワードに『福祉×医療×産業＝砂川オリジナル』をもっともっと具体化させていく“ワークショップ”です。是非、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。